

課題	調査表該当項目	総合評価コメント(案)
③ 文化芸術を通じたまちづくりへの展開	(a) 文化芸術を通じた市民、地域への効果の共有	基本方針4「伝統文化等の継承」 施策2「地域の特徴となる文化芸術の形成」
	(b) 文化芸術の効果を意識した取組の拡大	基本方針5「交流による活動の拡大・活性化」 施策3「多様な担い手の連携によるまちづくりへの促進」
	(c) 健康や福祉など、他分野と結びつけた取り組みの推進	基本方針5「交流による活動の拡大・活性化」 施策2「他分野と結びつけた文化芸術活動・交流の促進」
	(d) 共生社会の実現に向けた取組の推進	基本方針5「交流による活動の拡大・活性化」 施策1「障害者や外国人など多様性への理解と交流の促進」

文化芸術を通じたまちづくりの展開という観点からみたとき、行政各部署や学校市内大学をはじめとする地域の多様な機関との連携がなされていること、また、コロナ禍においても高齢者や外国籍市民など多様な市民が各事業に参加したことなどが高く評価できる。調査表に記載の事業以外にも、市民独自の活動が市内には広がっている。これらの活動も含め行政が後押ししていくことを通じて、文化芸術を通じたまちづくりがより豊かになされていくことを期待したい。今後の課題としては、施設のハードおよびソフト両面でのバリアフリー化が挙げられる。なお、評価にあたり、①自己評価の基準を部署間でなるべく統一する、②評価の理由を具体的に書き込む、③同じ事業でも評価の観点によって記述を変える、④一般的な認知度が低いものの名称には簡略な説明を付すことなどは、今後各部署において留意されたい(課題①②についても同様)。